

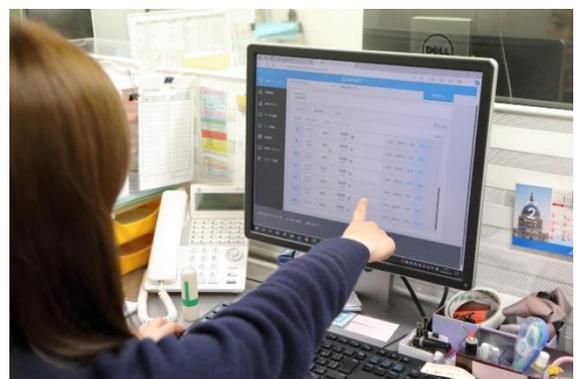
トラック運転手の時間外労働の規制強化、「2024年問題」対応で先行 大阪の「堺鋼板」、『Air ウェイト』で荷積みの待ち時間を半減 工場周辺の車体行列を解消、運転手は浮いた時間に休憩

2024年4月1日から物流・運輸業界は、トラックドライバーの時間外労働の規制が強化される「2024年問題」への対応に迫られています。まったなしで各社が対応策を探る中、荷積みの待ち時間の削減に着目した先事例を紹介します。

大阪に本社を構える堺鋼板株式会社（以下、堺鋼板）は、創業60年を迎えた鋼板メーカーで、大阪府堺市や三重県伊賀市など国内に6つの生産拠点工場を構えています。鉄鋼製品の製造や加工だけでなく、出荷までを担っています。堺鋼板では、2024年問題をきっかけに、ドライバーの業務効率化が急務となりました。特に課題視していたのが、工場にトラックが到着してから、荷積みの準備ができるまでの待ち時間の長さです。ドライバーは工場に到着すると、荷積みの受付票を手書きで記載し、順番が来るまでその場で待ち続けなければなりません。日によっては、数時間待ち続けるケースもあるなど、ドライバーの長時間労働に繋がっていました。そこで2023年11月より活用しているのが、リクルートの受付管理アプリ『Air ウェイト』です。『Air ウェイト』は、オンライン上か、事務所の受付カウンターにあるタブレットでチェックインし、順番が来たら自動で通知される仕組みのサービスです。その場で待つ必要がないため、どこかで休憩したり、他の業務をこなしたりと、時間を有効に使えます。また、オンライン上での受付の場合、事前にどのトラックが何時に来るか分かるため、工場側の荷積み準備も効率化されました。待ち状況の確認や呼び出し作業も自動化できたため、余計なリードタイムがなくなり、導入前は1台あたり平均で30分必要だった待ち時間が、導入後は15分に半減しました。

加えて、受付スタッフの作業負担の軽減にもつながっています。今までは受付時に紙に記載されたドライバーの氏名や会社名を確認しながら呼び出し、集計のため表計算ソフトに打ち込んで管理していました。『Air ウェイト』はシステム上にドライバーが入力した情報が蓄積するため、導入後は、その作業自体をなくすことができました。約30分かかっていた業務が、ほぼ0分に短縮でき、会社全体における生産性が向上しています。堺鋼板は、待ち時間の削減により、「より早くて安い配達」を目指していくそうです。

本資料では、堺鋼板の『Air ウェイト』を活用した配達ドライバーの労働時間削減の事例をご紹介します。



本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

【ご取材可能な事例概要】 ※活用シーンの撮影や取材もご相談可能

堺鋼板株式会社

1963年創業。主軸事業の鋼板事業に加え、建材事業と海外貿易事業を含めた三つの事業を展開しており、国内外の多くのメーカーと取引を実施しています。製品や資材を製造・加工から製品や資材の出荷までを大阪府堺市にある「泉北センター」と、三重県伊賀市の「三重センター」を含めた国内6つの生産拠点工場を手掛けております。

■導入背景

- 2024年4月から物流・運送業界における時間外労働の上限規制の猶予期間が終了することで、配達ドライバー一人当たりの走行距離が短くなり、長距離輸送が難しくなる可能性がある。
- 外部の運送会社に委託もしている。企業として法令遵守しながら、ドライバーの健康を守ることも重要な使命。消費者に迷惑をかけず、ドライバーの健康も守るためにはどうすればよいかを検討していた。
- 製品や資材を配送するドライバーは、各生産拠点工場に到着後受付をし、荷積みの準備ができるまで、その場で待つ必要があった。
- 特に課題を感じていたのが荷積みの準備ができるまでの長い待ち時間。日によっては、50台近くのトラックが来て、数時間待ちというケースも。ドライバーの勤務時間が長くなっている要因にもなっているのは明白だったため、待ち時間の解消方法の検討が必要であった。
- たまたま訪れた飲食店で『Air ウェイト』を用いた待ち時間の管理をしており、この機能を社内でも活用できるのではないかと考えた。

■導入効果

- 2023年11月より『Air ウェイト』を導入。導入前は、受付カウンターで順番待ちの受付をした後、順番が来るまでその場で待っている必要があったが、現在はオンライン上か受付カウンターのタブレットで受付をしたら、その場で待つ必要がなくなった。他の作業をしたり、休憩をしたり、時間を有効に活用できるようになった。
- オンライン上での受付の際には、事前にどのトラックが来るか分かるため、工場側も荷積み積みの準備ができるようになった。待ち状況の確認や呼び出し作業も自動化できたため、余計なリードタイムが削減。1台当たりの待ち時間は導入前約30分必要だったのに対し、導入後は約15分と半減できている。
- 導入前は、受付時、紙に記載されたドライバーの氏名や会社名を確認しながら呼び出し、集計のため表計算ソフトに打ち込んで管理していた。打ち込み作業に約30分かかっていたが、導入後システム上にドライバーが入力した情報が蓄積するため、ほぼ0分に短縮でき、受付スタッフの作業負担も軽減できている。
- 順番待ちの受付や管理は『Air ウェイト』に任せ、人は人にしかできない業務に集中できる環境が整うため、会社全体での生産性向上につながっている。
- 鋼板は競争が激しい業界のため、価格勝負になる傾向がある。2024年問題をきっかけに、納品のスピードや物流コストが差別化できるポイントになっていく見込み。待ち時間の削減により、「より早くて安い配達」が実現し、競合よりも優位に立つことができると考えている。

■サービス担当話者からのコメント ※取材対応可能



・ 蔦田 慎史 (つただ しんじ)
株式会社リクルートプロダクト統括本部
『Air ウェイト』『Air リザーブ』プロダクト担当者

・ 2016年にリクルート入社と同時に、関連会社ブログウォッチャーにアサイン。位置情報データの商品開発、販売などを手掛け、2017年技術開発グループの組織長を経験。2021年『Air リザーブ』事業企画を手掛け、2023年1月より『Air ウェイト』プロダクト担当者も兼務。

『Air ウェイト』は、生活においてさまざまな場面で見られる「待ち時間」にまつわる不満を解決することを目指しサービスを展開してきました。今では業態問わず、多くの店舗に導入いただいております。百貨店やショッピングモールなどの店頭においても活用いただいております。すでにご活用いただいている複数の施設では、スタッフの「業務効率化」を実感いただいております。

物流業界ではドライバー人材の高齢化・若手不足も問題になっていることから、ドライバーの中にはデジタルに慣れていない世代も多くいます。そのため、どんな方でもシンプルで使いやすいUIであることは、開発側としてこだわっています。UIを決める時には数字データも参考にしますが、実際に使っていただくユーザーからのフィードバックも大切に細かい改善を重ねています。

デジタルツールをご活用いただくことで、従来行っていた業務の一部は代替が可能となり、接客など本来やるべきサービスに注力していただくことができます。つまりは人手不足含む業務負担の削減にとどまらず、サービスの質の向上にもつながるのです。今後も『Air ウェイト』をはじめとした「Air ビジネスツールズ」を通じて事業者様の業務負担を減らすことにより、顧客体験価値を上げ、お客様により楽しんでもらえるようになることを模索していきます。

■物流業界で導入されている『Air ウェイト』の機能・特徴紹介

- ①待ち時間を有効活用できるような機能を活用
- ②分析レポートも活用すれば国交省で義務付けられている時間の記録も自動で蓄積
- ③ドライバーが「待ち状況確認画面への呼び出し先窓口名表示機能」を利用し、各自のスマートフォンから受付すると、入庫するバースの番号と待ち時間が表示される。呼出し後もスムーズな移動が可能。



1. 受付・発券



お客様、またはスタッフがiPadで受付し、番号券を発券します。お客様は、QRコードを読み込むと、現在の待ち時間や順番を確認できます。

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

2. 呼び出し



スタッフがiPadを操作し、お客様を呼び出します。電話やメール、店内のモニターなどで、自動的に通知されます。

3. 案内



呼び出したお客様が来店されたら、iPadで案内操作を行います。お客様のリストから消去され、待ち時間が自動的に最新化されます。

『Air ウェイト』は、待ちの不満を解決する受付管理アプリです。iPad とプリンターがあれば、紙台帳や高価な専用端末を使わずに、スマートな受付管理ができます。2014年11月にサービスの提供を開始し、飲食、小売、サービスからクリニック、調剤薬局などの幅広い業種で導入が広がっています。『Air ウェイト』さえあれば、受付から呼び出しまでカンタンな操作で受付業務を効率化でき、受付データの分析で業務改善も可能、顧客満足度の向上にも貢献します。外部モニター出力や多言語対応も実現できます。オンライン順番受付の活用で、お客様は来店することなく Web サイト上で混雑状況を把握でき、カンタンに順番受付が可能。混雑を解消して案内をシステム化することで、店内や待合室でお客様を待たせることがなくなるため、感染症対策にも役立ちます。

『Air ウェイト』 HP : <https://airregi.jp/wait/>

Air ビジネスツールの紹介

Air ビジネスツールは本年、サービス開始から10周年を迎えました。各サービスのご紹介に加え、10年間の歩みや導入事業者の声、社会課題の解決に役立った事例等を掲載したWebサイトも開設しておりますので、是非ご覧ください。

<http://airregi.jp/brand/>

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ : <https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート : <https://www.recruit.co.jp/>